

群馬歴史資料継承ネットワーク（ぐんま史料ネット）は2020年（令和2）7月に設立され、群馬県および近接地域で活動しています。災害に直面した経験から、歴史資料を守るために発足したのではなく、いわゆる「予防ネット」として誕生しました。

## ○ネットワークの拡充

- ・WEB版ぐんま史料ネット  
通信『DARUMA』
- ・HPの整備と運用
- ・SNSの活用



## ○文化財シェルター

- ・資料保全セミナーの企画

## ○資料所在調査

- ・中之条町赤岩文書調査
- ・未調査資料情報の収集



## ①情報プラットホームの整備

## 「予防ネット」の確立

## ③調査研究活動

## ○地域資料防災の総合的研究 (群馬県立女子大学との連携)

- ・『ぐんま地域文化遺産  
フォーラム 2023 記録集』
- ・『群馬学研究 KURUMA』
- ・ぐんま地域文化遺産  
フォーラムの企画



# ぐんま 史料ネット の挑戦

## ②非常時想定活動

## ④普及・啓発活動

ホームページ  
にて会員限定で  
全文公開中！



## ○大字誌活動

- ・大字誌プロジェクトの実施  
(東上野ベースを発足)
- ・『大字誌 角渕』の活用

## 最近の動向

## ○文化財シェルターの三者協定締結

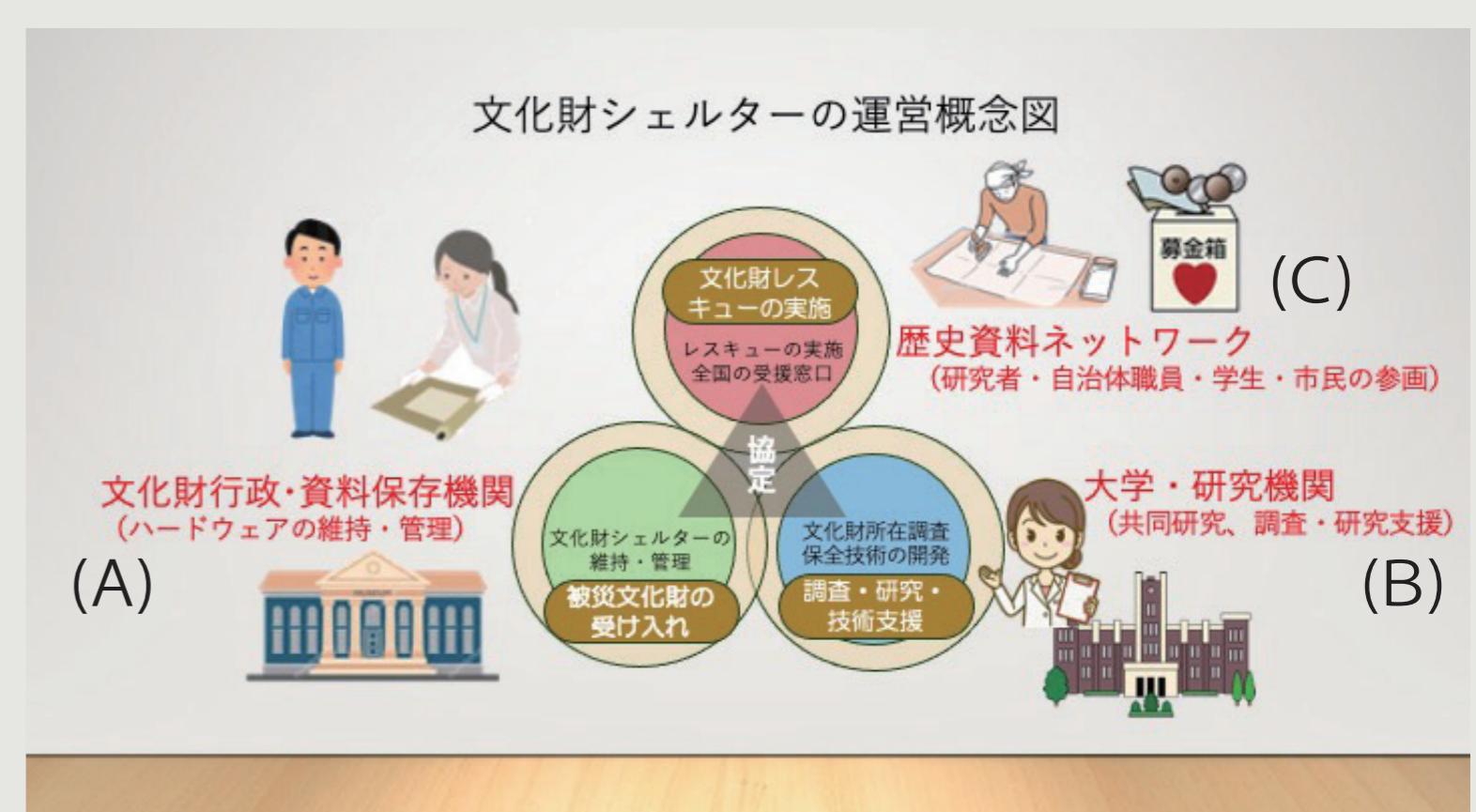
文化財シェルターを整備・運営していくための協定を、  
(A)玉村町、(B)群馬県立女子大、(C)ぐんま史料ネット  
の三者で締結しました。

## ○群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会への参画

群馬県が組織する文化財防災ネットワークに加盟。  
本ネット代表が、協議会の会長を務めています。

## ○地域資料防災の総合的研究

- ・群馬県立女子大学主催 群馬学連続シンポジウム  
第47回 シリーズ群馬の災害文化Ⅲ  
「災害史を“する”人々—異分野交流と市民参加—」



### 【団体情報】

事務局：群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1  
群馬県立女子大学 群馬学センター 築瀬大輔研究室  
現会員数：219人 (2025年9月)  
入会方法：入会金・会費無料  
入会フォームより申込み

